

研究課題名：低侵襲心臓手術（MICS）における前鋸筋間膜面ブロック（SAPB）の効果

所属（診療科）：麻酔科

研究責任者（職名）：砂川 浩（医師）

研究期間：2019年4月1日～学会発表・論文投稿を行うまで

研究目的と意義：

術後疼痛は手術を受ける患者が経験する苦痛の第一のものであり、それは人工心肺を用いる心臓手術においても同様である。特に低侵襲心臓手術として昨今話題となっている MICS は正中切開創よりも術後創部痛が問題となることが多い。術後の良好な疼痛コントロールを得るために現在はオピオイド、NSAIDs、局所麻酔薬などを併用する Multi-modal pain management が推奨されているが、その中でも特に末梢神経ブロックが着目されている。しかし、MICS において神経ブロックが術後鎮痛に及ぼす効果についてはまだ不明な部分が多く、そしてどの種類の神経ブロックを選択すれば良いのかも不明である。本研究は、MICS 症例において、術後前鋸筋間膜面神経ブロック（SAPB）の実施群と非実施群を比べて、術後の患者疼痛スケールの推移、鎮痛薬の使用量、リハビリテーションの進行度にどれほどの影響を与えるかを評価する目的に、計画する。

研究内容：

●対象となる患者さん：2019年4月以降に当院で行われた MICS 症例

●利用する情報/資料：

患者背景情報として年齢、既往歴、鎮痛薬を含めた術前の服薬状況、米国麻酔科学会術前状態分類（ASA-PS）、術中情報として麻酔時間、手術時間、術中の鎮痛薬使用量、術後情報として術後鎮痛薬の種類と量、合併症、看護記録によるペインスケール、患者愁訴

●研究方法：神経ブロック非実施群と実施群に分けて後ろ向きに群間評価を行う

問い合わせ先：

【研究担当者】

氏名：砂川 浩

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）